

SONY®



\* 4 2 9 6 5 4 7 0 1 \*

4-296-547-01(1)

# エレクトレット コンデンサーマイクrophon

## 取扱説明書

©2011 Sony Corporation  
Printed in China

## ECM-PCV40

お買い上げいただきありがとうございます。

**【警告】** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### 警告

## 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のために注意事項を守る。
- 故障したら使わない。
- 万一異常が起きたら、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店に修理を依頼する。また、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。

### 警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

#### 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

#### 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

#### 注意を促す記号



火災



感電

#### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

### 警告



火災



感電

#### 内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機を取り外し、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

#### 湿気やほこり、油煙、湯気が多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止



禁止

### 注意

#### 内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

#### 安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。



分解禁止



禁止

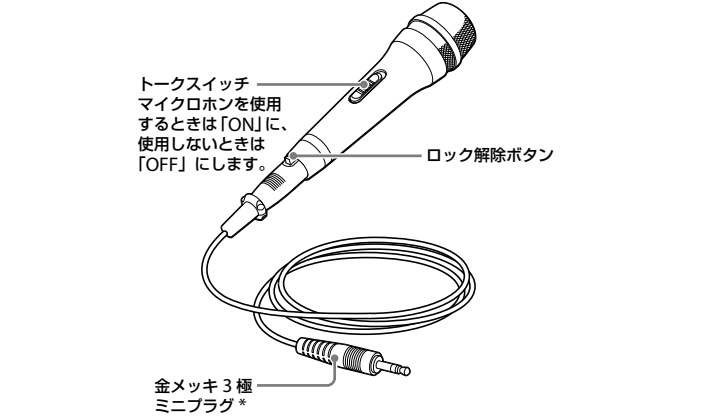
#### ご注意

マイクrophon（ECM-PCV40）は、プラグインパワー方式専用です。必ず、パソコンなどのプラグインパワー方式対応マイク端子につないでお使いください。プラグインパワー方式対応マイク端子以外につなぐと、故障の原因となる場合があります。

## 主な特長

- パソコン用ボーカルマイク
- PC カラオケで歌ったり、動画投稿用の音声収録などにお勧め（本マイクはエレクトレットコンデンサー方式を採用しており、一般のダイナミック方式ボーカルマイクより感度が高く、パソコンでの使い勝手が良く高音質の音声を楽しめます。）

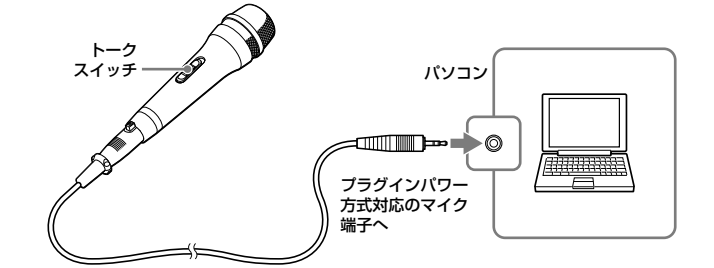
## 各部の名称



\* 出力音声はモノラルです。

## マイクrophonの使いかた

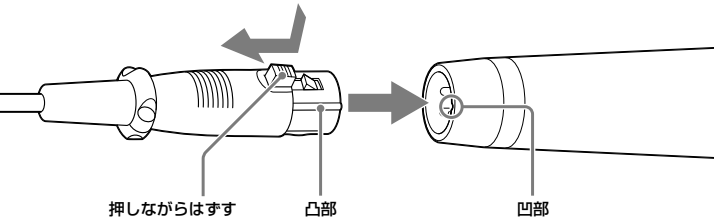
マイクrophonの音声をパソコンのスピーカー（ヘッドホン）から出力したり、パソコンでマイクrophonの音声を録音する場合、あらかじめパソコンのオーディオ環境の設定が必要になります。



- マイクrophonをパソコンのプラグインパワー方式対応マイク端子につなぐ。
- マイクrophonのトークスイッチを「ON」にする。
- パソコンのオーディオ設定を確認して、音量を調節する。

### マイクコードのはずしかた／取り付けかた

- コネクターに付いているロック解除ボタンを押しながら、手前に引いてはずします。
- マイクrophon本体の出力端子側にある凹部とコネクター側の凸部とを合わせて、カチッと音がするまで押し込んで取り付けます。



## パソコンのスピーカー／ヘッドホンからマイクrophonの音を出す

### Windows XP

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」または「サウンドとオーディオデバイス」を開く。
- 「オーディオ」タブを選び、「音の再生」の「音量」ボタンをクリックする。
- 「マスタ音量」ウィンドウで「マイクボリューム」\*の「ミュート」チェックボックスのチェックを外す。
- 「マイクボリューム」をお好みの音量に調節する。

\* 「マスタ音量」ウィンドウに「マイクボリューム」が表示されない場合は、「オプション」から「プロパティ」をクリックして、「再生」が選ばれていることを確認してください。その上で「表示するコントロール」で「マイク」にチェックを入れ、「マスタ音量」ウィンドウに戻してください。

### Windows Vista / Windows 7

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ハードウェアとサウンド」を開く。
- 「サウンド」をクリックし、「サウンド」画面の「再生」タブから「スピーカー」の「プロパティ」画面を開き、「レベル」タブを選ぶ。
- 「マイク」の ボタンをクリックして （オフ）に切り換える。
- 「マイクボリューム」をお好みの音量に調節する。

### パソコンにマイクrophonの音を録音する

Windows のサウンドレコーダーを使って、マイクrophonの音声を録音することができます。

### Windows XP

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」または「サウンドとオーディオデバイス」を開く。
- 「オーディオ」タブを選び、「録音」の「音量」ボタンをクリックする。
- 「録音コントロール」ウィンドウで「マイクボリューム」の「選択」にチェックを入れる。
- 「マイクボリューム」をお好みの音量に調節する。
- 「スタート」メニューの「すべてのプログラム」から「アクセサリ」→「エンターテインメント」を選び、「サウンドレコーダー」をクリックする。
- 「サウンドレコーダー」ウィンドウの ボタンを押して、録音を開始する。

操作について詳しくは、サウンドレコーダーのヘルプを参照してください。

### Windows Vista / Windows 7

- 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ハードウェアとサウンド」を開く。
- 「サウンド」をクリックし、「サウンド」画面の「録音」タブから「マイク」の「プロパティ」画面を開き、「レベル」タブを選ぶ。
- 「マイク」の ボタンをクリックして （オフ）に切り換える。
- 「マイクボリューム」をお好みの音量に調節する。
- 「スタート」メニューの「すべてのプログラム」から「アクセサリ」を選び、「サウンドレコーダー」をクリックする。
- 「サウンドレコーダー」ウィンドウの ボタンを押して、録音を開始する。

操作について詳しくは、サウンドレコーダーのヘルプを参照してください。

パソコンのオーディオ設定のより詳しい確認・操作方法は、下記のホームページを参照してください。  
<http://www.sony.co.jp/av-acc/>

マイクrophonの音声をパソコンで再生している音楽と一緒に録音したり、音声付きの動画ファイルを作成したりするには、対応したソフトウェアが必要です。詳しくはお使いのソフトウェアの取扱説明書やヘルプを参照してください。

故障かな？と思ったら	
症状	原因／処置
音が出ない。録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"><li>つないだ機器がプラグインパワー方式ではない。 → プラグインパワー方式の機器につないでお使いください。 → お使いの機器に付属の取扱説明書を参照してください。</li> <li>プラグの接触不良。 → プラグをマイク端子の奥までしっかり挿してください。 → プラグが汚れている場合は、柔らかない布で拭いてください。</li> <li>マイクのトークスイッチが入っていない。 → トークスイッチを「ON」にしてください。</li> <li>パソコンの音声出力が「ミュート」になっている。 → パソコンの音声出力設定を確認し、ミュートを解除してください。</li> <li>外部アクティブスピーカーの電源が入っていない。 (外部アクティブスピーカーをお使いの場合) → 外部アクティブスピーカーの電源を入れてください。</li> <li>パソコンのオーディオデバイスが正しく設定されていない。 → パソコンの設定をご確認ください。詳しくは「マイクロホンの使いかた」をご覧ください。</li> <li>録音用ソフトウェアの操作を間違えている。 → お使いのソフトウェアの取扱説明書やヘルプを参照してください。</li> <li>外部アクティブスピーカー／ヘッドホンの音量が小さくなっている。 → お使いのアクティブスピーカー／ヘッドホンの音量を調節してください。</li></ul>

マイクの音声が歪んでいる	<ul style="list-style-type: none"><li>パソコンのマイク入力レベルが大きすぎる。 → 以下の手順で調節してください。<div>Windows XP<div>1「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」または「サウンドとオーディオデバイス」を開く。</div>2「オーディオ」タブを選び、「音の再生」の「音量」ボタンをクリックする。</div>3「マスタ音量」ウィンドウで、「マイクボリューム」をお好みの音量に調節する。</li></ul>
--------------	--

1「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ハードウェアとサウンド」を開く。

パソコンの操作について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

## 主な仕様

<b>形式：</b>	エレクトレットコンデンサー型
<b>電源：</b>	プラグインパワー方式
<b>外形寸法：</b>	マイクロホン本体　約 φ 43 mm × 160 mm (最大径 × 全長)
<b>質量：</b>	マイクロホン本体　約 300 g (マイクコード含む)
<b>本体出力コネクター：</b>	キャノン XLR-3-12C タイプ
<b>マイクコード：</b>	単芯シールド φ 4.5 mm / 金メッキ 3 極ミニプラグ (モノラル) / 長さ　約 2 m

次の各項は、当社プラグインパワー標準負荷回路を用い、JIS C5502-1991 マイクロホン工業規格に準拠して試験したものです。

<b>指向特性：</b>	単一指向性
<b>周波数特性：</b>	80 Hz ～ 15,000 Hz
<b>正面感度（開回路電圧レベル）：</b>	−40 dB ± 3.5 dB
<b>動作温度：</b>	5℃ ～ 35℃
<b>同梱物：</b>	マイクロホン本体 (1)、マイクコード (1) 取扱説明書（本紙）(1)、保証書（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## 取り扱い上のご注意

- マイクロホンは精密にできています。絶対に分解しないでください。
- 落としたりぶつつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- 使用中にマイクロホンをスピーカー／ヘッドホンに近づけると、「ピー」という音が発生することがあります（ハウリング現象）。これは、スピーカー／ヘッドホンから出る音をマイクロホンが再び拾ってしまうために起こる現象です。その場合は、マイクロホンとスピーカー／ヘッドホンの距離をできるだけ離してください。
- 湿気やほこり、油煙、湯気が多い場所や直射日光のあたる場所には置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外での使用時は、雨や海水にぬらさないようご注意ください。
- 汚れは、乾いた柔らかない布でふき取ってください。その際、マイクロホンに息を吹きかけることはしないでください。特にプラグ部分を汚れたままにしておくと、音質が悪くなったり、音がとぎれたりすることがあります。
- マイクコードを強く引っ張ると断線の原因となります。プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。

<p>万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。</p>
--

## 保証書とアフターサービス

**保証書について**

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

**アフターサービス**

**調子が悪いときは**

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

**それでも具合が悪いときは**

ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

**保証期間中の修理は**

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

**保証期間経過後の修理は**

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

## 商標について

- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

なお、本文中では™、® マークは明記していません。

### ソニーの相談窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

**ホームページで調べるには**

➡ AV 関連商品・アクセサリー カスタマーサポートへ（<http://www.sony.co.jp/av-acc>）  
マイクロホンに関するよくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

**電話・FAX でのお問い合わせは**

➡ ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX 番号）  
• お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

**セット本体に関するご質問時：**

- － 型名:ECM-PCV40
- － ご相談内容:できるだけ詳しく
- － お買い上げ年月日

**接続に関するご質問時**

質問の内容によっては、本機に接続される機器についてご質問させていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。
<http://www.sony.co.jp/support>

<b>使い方相談窓口</b>	フリーダイヤル…………… <b>0120-333-020</b> 携帯電話・PHS・一部のIP電話 <b>0466-31-2511</b>	➡	左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「 <b>309</b> 」+「 <b>#</b> 」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
<b>修理相談窓口</b>	フリーダイヤル…………… <b>0120-222-330</b> 携帯電話・PHS・一部のIP電話 <b>0466-31-2531</b> <small>※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。</small>		

**FAX（共通）0120-333-389**

ソニー株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-7-1